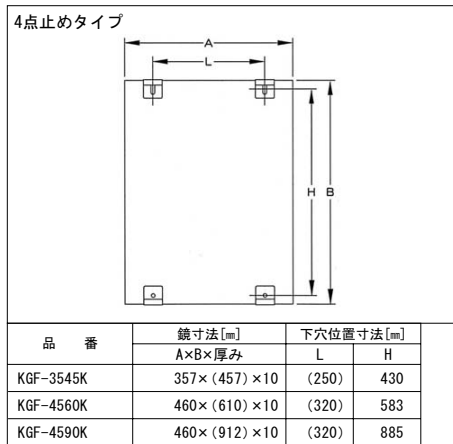
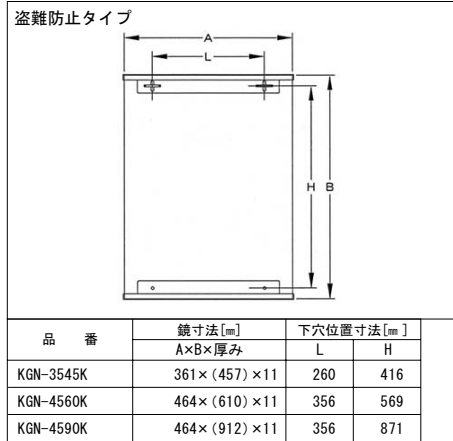


ステンレス製鏡 KAGAN 施工説明書

商品の機能が十分に発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。

●製品寸法図



●安全上のご注意

- 施工前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- この施工説明書は、取扱説明書・付属のタオルと共にお客様まで保管頂くように依頼してください。

用語および記号の説明

注意 …… 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます」

⚠ …… 「注意しない！」
(上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)

❗ …… 指示通りにしない！」
(一般的な行動指示記号です)

🚫 …… 「してはいけません！」
(一般的な禁止記号です。)

⚠ 注 意

必ずこの施工説明書の指示どおりに施工してください。
※誤った施工をされた場合、器具が破損したり、外れたりして、ケガをする恐れがあります。

必ず付属のステンレスビスを使ってください。
※他のビスを使用した場合、錆びて、鏡が落下する恐れがあります。

●施工前のご注意

- 変形がおきないよう取扱いには十分の配慮をして下さい。
- ステンレス鏡は、金属の為に歪みがあります。ガラス鏡とは映り方が異なります。
- 落下事故防止のため、取付部材や壁面の構造等について以下の取付条件をお守りください。
- 取付部の壁の不陸及び反りがないようにして下さい。

[乾式壁の場合]

- ステンレス製の木ねじを使用してください。
(別途手配して下さい。)
- 取付部の厚さが5.5mm以上になるように取付木(補強木)を設けて下さい。
※取付木(補強木)は柱または間柱に固定してください。
- 石膏ボード等のボード張りには木ねじはききません。必ずあらかじめ壁裏に取付木を入れ、取付部の厚さを確保してください。
- ボード張りの厚さは12.5mmを超える場合は、越えた分だけ長い木ねじを別途用意してください。

[湿式壁の場合]

- 取付部材として同梱のAYボルトを使用してください。
- 下地材はコンクリートとし、取付部の奥行きは50mm以上(コンクリートの厚さは30mm以上)を確保してください。
- 壁仕上材(モルタル・モルタル+タイル等)の厚さは20mm以下としてください。厚さが20mmを超える場合は越えた分だけ長いAYボルトを使用してください。
- ALC板やコンクリートブロックの中空部にはAYボルトは固定できません。
- 木ずり下地、ラスボード下地への取付けは、乾式壁と同じようにあらかじめ壁裏に取付木を入れ、必要なねじ込み深さを確保し、取付部材として木ねじを使用してください。

- 日光や殺菌灯が直接当たる場所へ取り付けないでください。
※変色する恐れがあります。

●施工方法

盗難防止タイプ KGN-3545K、KGN-4560K、KGN-4590K ●盗難防止タイプの場合、一度設置されますと取り外しができません。あらかじめ取付位置の確認を必ず行って下さい。

1. 位置決めと下穴加工

鏡の取付位置を決め、製品寸法の下穴位置寸法を参考に、現物あわせで下穴をあけます。
※下穴サイズは木ねじの場合φ3.0深さ25mm、AYボルトの場合φ7.5深さ35mmとしてください。

2. 上部支持金物の取り付け位置決め

鏡を入れ、上部支持金具を鏡にかぶせてみて、上部支持金具の位置を印してください。それから、鏡を外し、AYボルト取り付け位置の印をしてください。

3. 下部支持金具の固定

鏡の取り付けの位置が決まったら、下部支持金具を壁に固定してください。

4. 上部支持金具の固定

印をした点が来るまで上部支持金具を上げ、AYボルトで固定してください。
(この場合、長円形孔を木ねじが摺動できる程度に締めしておく)

5. 鏡の固定

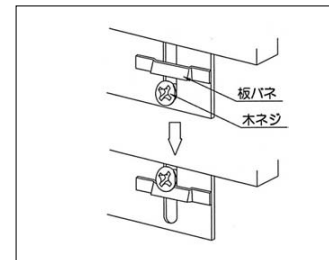
- ①上部支持金具(長穴)を最上部までスライドします。
- ②表側の保護シートの一部をはがします。
- ③裏紙の剥離紙をはがします。
- ④正面から鏡の下部支持金具(丸穴)に差し込みます。
- ⑤鏡を壁面に合わせます。
- ⑥鏡を押さえ、壁に完全に固定します。
- ⑦上部支持金具を下へスライドさせて鏡を固定します。

6. 確 認

上部支持金具を上方に引っ張ってみて同金具が確実に固定できたか確認してください。

7. 盗難防止の効果

木ねじの皿頭を板バネが乗り越えて、木ねじと板バネが引っかかり、盗難防止の役目を果たします。



4点止めタイプ KGF-3545K、KGF-4560K、KGF-4590K

1. 位置決めと下穴加工

鏡の取付位置を決め、製品寸法図の下穴位置寸法を参考に、現物あわせで下穴をあけます。
※下穴サイズは木ねじの場合φ3.0深さ25mm、AYボルトの場合φ7.5深さ35mmとしてください。

2. 下部支持金具の固定

下部支持金具(丸穴)をしっかりと固定します。

⚠ 注 意

上部支持金具と下部支持金具を逆に使用しないでください。
※支持金具を逆に使用された場合、鏡が外れて、ケガをする恐れがあります。

⚠ 注 意

下部支持金具はまっすぐに取り付けてください。
※支持金具が傾いた状態で取り付けられた場合、鏡が外れて、ケガをする恐れがあります。

3. 上部支持金具の固定

上部支持金具(長穴)をスライドできる程度に固定します。

4. 鏡の固定

- ①上部支持金具(長穴)を最上部までスライドします。
- ②表側の保護シートの一部をはがします。
- ③裏紙の剥離紙をはがします。
- ④正面から鏡の下部支持金具(丸穴)に差し込みます。
- ⑤鏡を壁面に合わせます。
- ⑥鏡を押さえ、壁に完全に固定します。
- ⑦上部支持金具を下へスライドさせて鏡を固定します。

⚠ 注 意

上部支持金具はしっかりと下までスライドさせて鏡を固定してください。
※支持金具のスライドが不完全な場合、鏡が外れて、ケガをする恐れがあります。

- 施工後、上部支持金具が簡単に上方へスライドすることがないか確認してください。
簡単にスライドする場合は、上部支持金具の施工ねじを増締めしてください。
- 施工後、同梱の「取扱説明書・付属のタオル」をお客さまにお渡しください。